

事業報告

(2024年度)

【2024年4月1日～2025年3月31日迄】

1. 事業概要	1
2. 事業実績	
(1) 人材育成事業（資金援助）	2
(2) 人材育成事業（褒賞）	4
(3) 人材育成事業（自主事業）	4
(4) 調査研究事業	5
3. 選考過程	6
4. 会議実績	
(1) 理事会	6
(2) 評議員会	7
(3) 資金運用委員会	7
5. その他	
(1) 許認可および登記等に関する事項	7
(2) 寄附金に関する事項	8
(3) 附属明細書	8

公益財団法人 日産財団

2024年度事業報告

1.事業概要

今年度は、第3次中期計画(2021～2024年度)の最終年度にあたり、各事業の価値向上に努め、計画はおおむね予定通りに完遂した。人材育成事業を主軸に据え、各活動の内容を見直しながら進める中で、事業推進上の課題を洗い出し、次年度以降の計画に織り込んだ。

(1) 人材育成事業(資金援助)

① 理科教育助成

全国から公募された今年度の助成対象校では、4月から実践研究が始まり、着実に成果を上げている。また、次年度(2025年度)の助成対象校として、新たに34件を採択した。

さらに、能登半島地震で被災した奥能登4市町(輪島市、珠洲市、能登町、穴水町)に対しては、復興支援のための緊急資金援助を行った。

(2) 人材育成事業(褒賞)

① 理科教育賞

前年度の理科教育助成において、特に顕著な成果とその波及効果が認められた団体に、理科教育賞を贈呈し、さらに、その中で最も優れた団体には大賞を贈呈した。

② リカジョ育成賞

社会で活躍する女性を育成する目的で、理系分野における興味・関心の向上と能力の育成を目指し活動を行った団体の中から、特に優れた団体に褒賞を贈呈した。

(3) 人材育成事業(自主事業)

「未来のリーダー教室」の展開編を1回開催した。さらに特別企画として、導入編・展開編の修了者で構成されるアルムナイ実行委員が講座の内容を企画した特別講座「中高生のための伝える力講座」を1回実施した。

(4) 調査研究

早稲田大学との共同研究として、リーダーシップ研究を行い、未来のリーダー教室のコンテンツの理論的裏付けを補強した。

<2024年度助成実績>

助成事業			助成金等(千円)
人材育成事業	資金援助	理科教育助成	42,968
	褒賞	理科教育賞	2,700
	褒賞	リカジョ育成賞	1,700
	自主事業	未来のリーダー人材育成講座	2,752
普及啓発事業		50周年記念シンポジウム	11,638
調査研究事業		リーダーシップ研究	8,021
合 計			69,779

2.事業実績

(1)人材育成事業(資金援助)

① 理科教育助成

今年度も引き続き、下記の各いずれかの取り組みを実施する小中学校等に対して資金援助を行った。

ア 科学的思考力の育成を目指す理科教育実践研究

イ 創造性・問題解決力の育成を目指す先進的な科学教育実践研究

＜総数48件 総額2,400万円＞

所属機関名	テーマ
旭川市立豊岡小学校	知識を活用して日本の災害に備える～自己の知識の可能性と日本の防災技術～
学校法人ろりぼっぷ学園 ろりぼっぷ小学校	里山の生物をタイムラプスを用いて観察する～主体性を育み、個別最適化を目指す不登校特例学校での取り組み～
福島大学附属中学校	問題解決力の育成を目指したSTEAM教育の実践と公立学校への発信による波及効果の分析
潮来市立延方小学校	科学的思考力の育成を図る理科・総合的な学習の時間の学習指導
茨城県立古河中等教育学校	主体的に問題解決する態度と科学的思考力を育てるE S D教育の在り方～古河中等S S R報告書作成を通して～
茨城町立葵小学校	わくわくすることを探しに出かける児童の育成～気体と生物との関わりにおける窒素循環～
高根沢町立阿久津中学校	科学的思考力を高める理科の学習指導の工夫
群馬大学共同教育学部附属中学校	未来創造科を通じたSTEAM教育の推進～教科横断的な視点に立った資質・能力の育成～
毛呂山町立毛呂山中学校	土壌細菌から考える環境教育についての学習指導
日出学園小学校	社会的探究と科学的探究を連続的に取り入れた体験学習プログラムの作成
学校法人山脇学園 山脇学園中学校高等学校	STEAM 教育を取り入れたPBL 型授業によるデジファブ活用とIoT ロボコンの実践
駒場東邦中学高等学校	林間学校を利用した地学野外学習ー3DCG教材と実物教材を組み合わせた学習プログラムの開発ー
芝浦工業大学附属中学高等学校	科学的に探究する力と批判的に思考する力を育成する教科横断型授業 ープラスチックは本当に悪なのかー
聖心女子学院	学校の環境を生かした養蜂ーSDGs・STEAM教育
府中市立府中第六中学校	生徒が自ら問いを立て、科学的に探究する理科授業 『科学者の時間』の実践研究
武蔵高等学校中学校	中学校理科教育における分子生物学的実験の導入
愛川町立半原小学校	「未来型授業（SDG s × S T E A M × G I G A × P B L）」で未来社会を切り拓く力を育む 2
鎌倉市立岩瀬中学校	映像教育で創る主体的・対話的で深い学び ～ 一人一台端末で行うメディアの創造 ～
川崎市立下沼部小学校	主体的に動き出し、共に学びをつくりあげる子の育成ー科学の“め”を育てる生活科・理科授業ー
学校法人浅野学園 浅野中学・高等学校	簡易CO2濃度計を用いた呼吸速度・光合成速度の測定と生態系の炭素収支測定への応用
横浜市立都田西小学校	主体的に学び、自分の考えを表現する子の育成
横浜市立間門小学校	変わる自分を自覚して、科学的に学ぶ子どもを育成する理科授業
坂井市立春江小学校	天体観望会を通して主体的に天体学習に取り組み、地域の良さを発信できる児童の育成
三重大学教育学部附属小学校	プログラミング的思考を育む「流域タイムライン」の教材化と実践

所属機関名	テーマ
相楽東部広域連立笠置小学校	理科から広がる主体的な課題解決学習～教科から実践へ～
長岡京市立長岡第四小学校	深い学びを紡ぐ授業研究 ～STEAM教育、探究的な活動を通して、主体的に学ぶ児童へ～
八幡市立男山中学校	理科の見方・考え方「条件制御」を育む理科授業の開発
大阪教育大学附属天王寺小学校	STEAM教育を取り入れた理科におけるカリキュラム開発－課題の真正性に着目して－
大阪市立東三国小学校	科学的な見方・考え方ができる理科好きな子の育成～自由研究を通した問題解決学習～
貝塚市立東山小学校	生活との繋がりの発見により主体性を喚起し、伝え合う力を育む理科生活科学習の工夫
関西大学初等部	問題解決力を高めるチーム版ミニミニ自由研究
関西学院千里国際中等部・高等部	身の回りの現象に疑問を持ち、科学的に分析・解明する主体的な学習者を育てるには
寝屋川市立第七中学校	「人に教えるために書く」ことにおいて、生徒の学習の取り組み方の解明
箕面自由学園小学校	先端技術の理解を深める理科教材の開発と、ものづくりを通した児童の科学性の育成
守口市立八雲中学校	理科教育におけるクラウド型授業・反転学習等の実践による個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実
滝川第二中学校	校内「里池」の保全活動と生物・化学的調査
奈良教育大学附属中学校	科学的思考力を育てる自作教材を使用した授業の展開 - 口頭・資料中心の授業から実験・観察中心の授業へ -
倉敷市立東陽中学校	エージェンシーの育成を目指した科学的探究 - 3Dプリンターを活用して -
広島市立観音小学校	理科・生活科の資質・能力を身に付けた児童の育成をめざして～感嘆符から感嘆符、そして感嘆符へ～
広島大学附属三原小学校	自然事象に豊かな感性で関わり、問題解決に挑む子どもの育成
飯塚市立上穂波小学校	新たな価値を創造する児童の育成 ～3Dプリンタを活用した授業実践を通して～
北九州市立木屋瀬小学校	自然に親しみ、自然に学ぶ、木屋瀬小学校の理科・生活科教育実践
福岡市立笹丘小学校	児童自ら学びを拓く、生活科・理科の学習指導法の研究～問題設定場面の工夫を通して～
福岡市立東住吉中学校	ビル街の中の学校で、自然体験活動を取り入れた教育実践
熊本市立天明中学校	SDGs時代における科学的な批判的思考力の育成に関する研究－半導体教材開発と指導法の考案を通して－
鹿児島市立原良小学校	自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質能力を養う授業の充実
長島町立城川内小学校	見方・考え方を働かせる360度カメラを使った理科授業の開発
那覇市立城北中学校	理科の学びに新たな価値づけができる生徒の育成－ICTを活用し、学びの表現方法を選択する活動を通して－

② 理科教育助成（復興支援）

今年度は、能登半島地震で被災した奥能登 4 市町（輪島市、珠洲市、能登町、穴水町）に対して、復興支援のための緊急資金援助を行った。

＜総数 28 件 総額 2,000 万円＞

推薦教育委員会名	所属機関名	支援金額
石川県輪島市教育委員会	輪島市立河井・大屋・鳳至・鶴巣・河原田・三井小学校	102.6 万円
	輪島市立町野小学校	52.7 万円
	輪島市立門前東・門前西小学校	57.7 万円
	輪島市立輪島中学校	133.2 万円
	輪島市立東陽中学校	72.7 万円
	輪島市立門前中学校	81.1 万円
石川県珠洲市教育委員会	珠洲市立上戸小学校	30 万円
	珠洲市立飯田小学校	55 万円
	珠洲市立直小学校	55 万円
	珠洲市立若山小学校	30 万円
	珠洲市立正院小学校	30 万円
	珠洲市立蛸島小学校	30 万円
	珠洲市立みさき小学校	55 万円
	珠洲市立緑丘中学校	75 万円
	珠洲市立三崎中学校	35 万円
	珠洲市立宝立小中学校	70 万円
	珠洲市立大谷小中学校	35 万円
石川県穴水町教育委員会	穴水町立穴水中学校	200 万円
	穴水町立穴水小学校	200 万円
	穴水町立向洋小学校	100 万円
石川県能登町教育委員会	能登町立柳田小学校	68 万円
	能登町立宇出津小学校	73.9 万円
	能登町立鶴川小学校	49.1 万円
	能登町立小木小学校	53.7 万円
	能登町立松波小学校	95.6 万円
	能登町立柳田中学校	58.4 万円
	能登町立能都中学校	85 万円
	能登町立松波中学校	16.3 万円

(2)人材育成事業(褒賞)

① 理科教育賞

今年度は、2023 年度の助成対象校の中から、特に顕著な成果とその波及効果が認められた団体に、理科教育賞を贈呈し、さらに、その中で最も優れた団体には大賞を贈呈した。

第 13 回理科教育賞

【理科教育賞大賞 副賞 100 万円】

福島大学附属中学校

【理科教育賞 副賞各 50 万円】

愛川町立半原小学校

福島市立松陵中学校

三重大学教育学部附属小学校

【理科教育賞ポスターセッション賞 副賞 20 万円】

宇都宮大学共同教育学部附属小学校

② リカジョ育成賞

社会で活躍する女性を育成する目的で、理系分野における興味・関心の向上と能力の育成を目指す活動を行った団体の中から、その活動実績を基に、特に優れた団体に以下の各賞を贈呈した。

【リカジョ育成賞 グランプリ 副賞 50 万円】

公立大学法人滋賀県立大学

【リカジョ育成賞 準グランプリ 副賞 30 万円】

一般社団法人土木技術者女性の会

大妻嵐山中学校・高等学校 鈴木崇広

【リカジョ育成賞 奨励賞 副賞 5 万円】

奈良女子大学 STEAM・融合教育開発機構、京都光華女子大学、国立大学法人熊本大学、国立大学法人秋田大学、網走市立第一中学校、特定非営利活動法人みんなのコード、国立大学法人岩手大学理工学部、Cooking Park、長谷工コーポレーション、鹿児島大学理学部、静岡県立沼津商業高等学校、第一薬科大学

(3)人材育成事業(自主事業)

① 未来のリーダー人材育成講座

超スマート社会である「Society5.0」をリードする人材を育成するため、初等中等教育段階でリーダーシップの資質を萌芽・育成することを目的に、今年度は中高生向けの「未来のリーダー教室」展開編を 8 月に開催した。さらに、特別企画として、「未来のリーダー教室」導入編・展開編の修了者で構成されるアルムナイ実行委員が講座の内容を企画した特別講座「中高生のための伝える力講座」を 12 月に開催した。

(ア)「未来のリーダー教室」(展開編)

実施年月日：第 1 回 2024 年 8 月 2 日(金)、2024 年 8 月 9 日(金)

会 場：早稲田大学 早稲田キャンパス (第 1 回)

コモレ四谷タワーコンファレンス (第 2 回)

講 師：池上 重輔(学校法人早稲田大学経営管理研究科教授)
福村 彩乃(リフレクトアート㈱代表取締役 CEO)
栗田絵莉子(玉川大学芸術学部講師)
宮本 道人(国立大学法人筑波大学産学連携本部准教授)
岡本 圭祐(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)
久村 春芳(公益財団法人日産財団理事長)
坂元 宏規(公益財団法人日産財団常務理事)

参 加 者：第1回13名 第2回15名
(イ)「中高生のための伝える力講座」(特別企画)
実施年月日：第1回 2024年12月1日(日)
会 場：渋谷ステーションコンファレンス
講 師：伊藤 羊一(武蔵野大学アントレプレナーシップ学部学部長)
井上 創太(株式会社 BYD 代表取締役)
参 加 者：22名

(4)調査研究事業

① リーダーシップ研究

超スマート社会である「Society5.0」をリードする人材を育成するため、初等中等教育段階において、リーダー資質を萌芽・育成することを狙いとして、未来のリーダーに必要な能力の萌芽・育成のための方法論に関する調査研究を行った。

(ア) 初等中等教育段階におけるリーダー資質の萌芽・育成に関する調査研究

研究期間：2022年4月1日～2025年3月31日(1年延長)
共同研究者：学校法人早稲田大学総合研究機構
担当教授：学校法人早稲田大学経営管理研究科教授 池上 重輔
学校法人早稲田大学商学学術院准教授 村瀬 俊郎
研究担当者：公益財団法人日産財団常務理事 坂元 宏規
公益財団法人日産財団 大谷 利一
公益財団法人日産財団 石坂美佳子
公益財団法人日産財団 中島 雅弥
研究費総額：998万円(研究実費)
今年度実施費用総額：5,812千円

(イ) 初等中等教育段階におけるリーダー資質の萌芽・育成方法の理論背景に関する調査研究

研究期間：2024年4月1日～2026年3月31日
共同研究者：学校法人早稲田大学総合研究機構
担当教授：学校法人早稲田大学経営管理研究科教授 池上 重輔
学校法人早稲田大学商学学術院准教授 村瀬 俊郎
研究担当者：公益財団法人日産財団常務理事 坂元 宏規
公益財団法人日産財団 岩瀬 孝邦
公益財団法人日産財団 大谷 利一
公益財団法人日産財団 石坂美佳子

研究費総額 : 700 万円 (研究実費)

今年度実施費用総額: 2,195 千円

3. 選考過程

助成事業	選考委員会	募集期間	応募数	採択数
リカジョ 育成賞	2024/5/10(#1) 2024/7/26(#2)	2023/6/1～2024/1/9	30	15
理科教育助成	2024/11/11(#3)	2024/6/1～2024/9/20	59	35
理科教育賞	2024/5/10(#1) 2024/7/26(#2)	—	4	4

4. 会議実績

(1) 理事会

① 第1回理事会 (2024年6月7日開催)

第1号議案: 2024年度第1回評議員会招集決定の件

第2号議案: 2023年度事業報告および会計報告書承認の件

第3号議案: 2024年度事業計画書・正味財産増減予算書一部変更の件

第4号議案: 選考委員選任の件(その他の人材育成事業)

第5号議案: 会計監査人の報酬の件

報告事項:

✓ 2023 年度資金運用状況について

✓ 2024 年度職務執行状況の報告の件

② 第2回理事会 (2024 年 8 月 9 日開催)

第1号議案: 2024年度理科教育助成(復興支援)助成対象者決定の件

③ 第3回理事会 (2024 年 9 月 20 日開催)

第1号議案: 2024年度第2回評議員会開催の件

④ 第4回理事会 (2025 年 1 月 7 日開催)

第1号議案: 基本財産の特定資産(事業基金)への移管に関する承認の件

⑤ 第5回理事会 (2025 年 1 月 30 日開催)

第1号議案: 2025年度契約書等承認の件(決済金額500万円以上)

⑥ 第6回理事会 (2025 年 3 月 12 日開催)

第1号議案: 資金運用規程改定の件

第2号議案: 2025年度事業計画書・正味財産増減予算書承認の件

第3号議案: 選考委員選任の件(その他の人材育成・教育助成)

第4号議案: 2025年度理科教育助成助成対象決定の件

第5号議案: 2025年度契約書等承認の件(決済金額500万円以上)

第6号議案: 2026年度理科教育助成募集要項承認の件

報告事項:

✓ 2024 年度資金運用状況について

- ✓ 2024 年度職務執行状況について

(2) 評議員会

- ① 第1回評議員会（2024 年 6 月 25 日開催）
第1号議案：2023年度事業報告書および会計報告書承認の件
報告事項：2024年度事業計画書・正味財産増減予算書について
- ② 第2回評議員会（2024 年 9 月 30 日開催）
第1号議案：監事の辞任に伴う補欠選任(案)の件

(3) 資金運用委員会

- ① 第1回資金運用委員会（2024 年 7 月 17 日開催）
第1号議案：ジャパン・プライベート・リート第2号投資事業有限責任組合出資(承認)の件
- ② 第2回資金運用委員会（2024 年 9 月 5 日開催）
第1号議案：地主プライベート投資法人出資(承認)の件
- ③ 第3回資金運用委員会（2024 年 11 月 27 日開催）
第1号議案：日産自動車株式会社株式の全株売却及び基本財産の処分に関する件
報告事項：2024年度第2四半期までの資金運用状況について
- ④ 第4回 資金運用委員会（2024 年 12 月 23 日開催）
第1号議案：日産自動車株式会社株式売却後の再投資資産購入検討の件
- ⑤ 第5回 資金運用委員会（2025 年 1 月 24 日開催）
第1号議案：ジュリアス・ベアノムラウェルスマネジメント出資(承認)の件
第2号議案：大和ハウスグローバルリート投資法人出資(承認)の件
第3号議案：既発外国債券購入の件
第4号議案：株式貸借取引承認の件
- ⑥ 第6回 資金運用委員会（2025 年 3 月 5 日開催）
第1号議案：資金運用規程改定の件
第2号議案：ジュリアス・ベアノムラウェルスマネジメント出資(承認)の件

5. その他

(1) 許認可および登記等に関する事項

- ① 許認可
なし
- ② 登記
 - ・変更登記(2024年6月25日評(理事・会計監査人)
 - ・変更登記(2024年9月30日 監事)
- ③ 提出・変更届出・変更認定申請
 - ・変更の届出(2024年5月1日)
 - ・事業報告等の提出(2024年6月28日)
 - ・変更の届出(2024年11月5日)
 - ・事業計画の提出(2025年3月25日)

(2) 寄附金に関する事項

なし

(3) 附属明細書

2024年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上